



つばさっ子

2013年 1月号



今年もどうぞよろしくお願いします



今月の行事

12日(土) 午前	9:00~11:00	ひよこ懇談会
18日(金) 午前	10:00~	お誕生日会
19日(土) 午後	18:30~20:30	父親懇談会
25日(金) 午後	18:30~20:30	ぞう懇談会



第2回父親懇談会(1/19)



先日、父親懇談会に関するアンケート、ご協力ありがとうございました。アンケートを踏まえ、内容を検討中です。仕事の為、参加できないお父さんが多いので、来年は曜日や時間を考慮したいと思います。



源泉徴収票・課税証明書
提出期限 1/31 まで



保育所継続申請の提出書類です。該当の方は忘れないように事務室までご提出ください。

熊取南中学 30 名が保育体験 12/7

子どもたちとどんな遊びをするか事前に考えて、手作り紙芝居、クイズ等を準備してくれました。恥ずかしさと戦いながらも子どもたちに披露してくれ、その後はいっぱい外遊びで楽しんでいました。



クリスマス会の様子 (12/25)



クリスマス会の
はじまりはじまり～

みんなで楽器を演奏しました



ビニールテープとビニール袋で
作ったツリーとサンタ



ホールでいただきまーす♪



職員もトナカイの鼻をつけた
り、ぼうしをかぶったり。頭がケ
ーキになってた職員もいたよ♪

今年度残り3ヶ月どうぞよろしくお願い致します。

市原 悟子

一年前の2012年1月15日この日は、つばさの建物が完成して建設業者から引き渡して貰った記念すべき日です。

そこから備品の購入、搬入開始、安い値段を探して苦手な買い物に奔走したことを思い出します。

10年前運営費を自分たちで捻出して経営してきた貧乏所帯の時は、事務机や備品、おもちゃのほとんどが中古品、知人から「あそこの地域のごみ置き場に本棚、靴箱がでているよ」との電話をもらい取りに行ったこともありました。だからほとんど全ての新品でスタートできることに感謝！感謝でした。喜びのスタートの2012年でしたが私的には体調不良の年でした。

15年前から毎日、早朝散歩をして体力づくりをしていたのに秋からめまいに苦しめられ、今まで風邪など引くこともなくきたのに年末には風邪をひき、それも発熱まで。完治するまでに一ヶ月もかかりました。定年まで働くことは無理かなととても自信を無くし弱気でしたが職員からの叱咤激励でなんとか快復しました。中々体調が回復しなくて落ち込み激しいときに「鉄の女が弱くなったのは、他の職員がしっかり園を運営してくれる安心感からだ。今までの張りつめた緊張が解けたのだ」とふっと感じた瞬間があり、焦る気持ちを切り替えられました。体力が確実に以前のような状態ではないことを自覚している最近です。

2013年は私にとって総仕上げの年です。これまで以上に一日一日を大切に！！と思っています。

つばさ1期生、保護者の方々共に園生活を満喫して下さい。

さらなるスキルアップを目指します

仲嶺 真弓

年末に給食室の掃除の応援に入りました。給食器具の汚れを見て改めて開園から9か月の時間が流れていたことを感じました。9か月間子ども達に大きな怪我もなく年を越せたことに感謝しつつ、残り3か月も何事もなく、子ども達が元気に過ごせることが、今一番の願いです。

副園長兼主任としての私は、“とにかく今、自分にできることを精一杯する”をテーマに突き進んできました。本来の私の性格は、どちらかというと目立たずに縁の下で力持ちが性にあっていていると思っているので、園長不在時など、自分が前面に立たなければいけない状況になかなか慣れず、何もしてなくても気が張って気疲れの多い日々でした。でも、そういうことも含めて自分の成長に繋がると受け止め、更なるスキルアップを目指します。残り3か月は、がむしゃらに突き進んできた9か月を振り返り、しっかり次年度に活かすことができるよう総括したいと思っています。

一年前の風景は遠い昔

一森すずえ

昨年度はお世話になりました。この原稿を書いている今、あと数日で2013年になろうとしています。ちょうど一年前、転職は決めていましたが、新しい職場で自分の居場所はあるのだろうか、不安な気持ちのまま、前の職場で最後のあいさつをしていました。そしてつばさが開園し、大泣きの子どもたちをサポートするために保育に入りましたが、知らない私があやしてよけい泣かれたり、おむつの留め方がゆるゆるだったり、保護者の顔も覚えられなくて、来園のご用件をお尋ねして失礼なことをしたりと、すったもんだのスタートでした。次から次に慣れない行事に取り組み職員と一緒に成功を喜び、涙を流すような話し合いをしたりと、最近ようやくみんなと仲間になれてきたような気がします。

12月に保育所継続申請受付事務業務がありました。書類を整え、期日内に全員提出してもらうというミッションを果たすため準備段階から神経を注ぎ、年間業務の中でも緊張を要するものでした。しかし始まってみると、やりとりすることでそれぞれの家庭の雰囲気も想像でき私の中で皆さんとぐっと距離が近くなっていることに気づきました。普段私が会話する機会が少ないお父さんやお母さんがお仕事の話や子どもの話、家のご事情を話してくれる人がいたりもして、とても暖かい時間でした。園の子どもたちはほんとにかわいいなと思っていましたが、こんなことで家族まるごと愛おしく感じるものなんだなぁ。自分自身の変化が一年前の今を遠い昔のように感じさせます。あらためて、この仕事を選んでよかった、来年もこの家族たちと職員、それから自分のためにがんばろうと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

「大冒険」

吉尾 由紀恵

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しく願いいたします。
年ののはじまりのつばさ子…何を書こうと、思いつくのが小学2年生の息子(ひゆう)が一人旅をした事なので、書きますね。

私の実家は、日本最北端の北海道稚内市。大阪からは、飛行機を乗り継いで行かなければ辿り着かず、おまけに冬場は、雪の影響で引き返したり他空港に着陸することもしばしば。「何事も経験」と思い、いつか一人旅を経験させてやりたいとずっと思っていて、冬休み、嫌いな学童に長時間居ないとならないし、これがチャンス！と、その遠い遠い稚内へ、一人で行かせることに決めたのです。旦那には猛反対されたけど、ひゆうの「一人で行ってみたい」という強い思いがあったので一人旅が成立しました。初めての一人旅。かなり前から、リュックに枕まで詰め込んで準備をしていたひゆう。ドキドキワクワクで迎えた当日。感動的なお別れもなく、淡々と関空を出発。家に帰っても落ち着かない母は、ネットで運行状況を何度も見たりして、無事羽田に着いたなあと安心していると、係りの人から電話があり、羽田で乗り替えて稚内のはずが、雪のために旭川が羽田に着陸する可能性があるとの事。「え～っ!？」恐れていたことが起こってしまったのです。旭川にお迎えなんて無理…。一人だし、知らない人ばかりだし、予定にないし。苦手な事がたくさん重なって、ひゆう大丈夫かな…と心配で胸が張り裂けそうでした。「大阪に戻してください。」そう言うのが精一杯。どんな思いで帰ってくるのか…考えただけで、辛くなりました。無事関空に戻ってきたひゆうを見た瞬間涙が止まらず…当のひゆうの第一声「ポケモンレッタやりたい」泣いている母を心配することなく、サクって言うから涙も引込みました。一人旅は、もう懲り懲りだろうと思い、予約変更をどうするか聞くと、「一人で行く」と言うひゆう。頼もしくもあり、心配でもありで、また涙の母。2度めのチャレンジで、ちゃんと乗りかえて無事、稚内に到着したのです。

ひゆうの大冒険は、母を成長させ、ひゆうをますますたくましくさせたのでした。